

またさかのうへのおほをとめ  
同坂上大嬢、家持に贈る歌一首

七三五番

かすが やま  
春日山  
かすみ  
霞たなびき  
こころ  
心ぐく  
て  
照れる月夜に  
ひとりかも寝む

また家持、  
また家持、坂上大嬢に和ふる歌一首

七三六番

つくよ  
月夜には  
かど  
門に出で立ち  
ゆふけと  
夕占問ひ  
あしうら  
足占をそせ  
し  
行かまくを欲り